

フラー・キョール コンペティション・ルール 2020

日本語版



CLÁR NA gCOMÓRTAS 2020

All Fleadhanna are subject to
Rialacha Fleadhanna Ceoil as
published by the Ardchomhairle
of Comhaltas. All entrants are
understood to have consulted
Rialacha Fleadhanna Ceoil.

フラー・キョール コンペティション・ルール

トラディショナル・アイリッシュ・ミュージック、歌、ダンス、アイルランド語のストーリーテリング

趣旨： フラーは歌唱、楽器、ダンス、および（アイルランド）言語を **Comhaltas** の目的を遵守しつつ、その威厳にふさわしい方法で表現することを通じてアイルランドの伝統音楽を普及、強化、維持する目的で開催される。コンペティションは参加者が賞を獲得したり、ライバルに勝つためだけの手段ではなく、参加者がお互いに素晴らしい能力を発揮し、向上するための手段である。

すべてのコンペティションは伝統的な性質であること、**Comhaltas Ceoltóirí Éireann** の規定に準拠するものとする。

Comhaltas Ceoltóirí Éireann
32 Belgrave Square, Monkstown, Co. Dublin, A94 XV02, Ireland.
Tel: (+353-1) 280 0295 | Fax: (+353-1) 280 3759
E-mail: eolas@comhaltas.ie | Webpage: <http://www.comhaltas.ie>



CLÁR NA gCOMÓRTAS 2020

コンペティション・ルール

すべてのフラーが **Comhaltas** コミッティによって出版されたフラーのルールの対象となる。

出場者はこのルール（RFC）を理解しているものとみなす。

目次

エントリー手順.....	4
居住地.....	5
年齢グループ	5
RIALACHA FLEADHANNA CEOIL ごとの演奏曲カテゴリ	7
リコール（同点奏者の再審査のための呼び戻し）	7
コンペティション 1-17 ソロ楽器	8
コンペティション 18-22 スローエア	11
コンペティション 23-24 デュエットとトリオ	11
コンペティション 25 ケーリーバンド	12
コンペティション 26 グルッパキョール	12
コンペティション 27-30 マーチングバンド.....	13
コンペティション 31-34 歌（アイルランド語と英語のシンギング）	14
コンペティション 35-36 ホイッスリング&リルティング	14
コンペティション 37-39 新規に作詞された歌（アイルランド語と英語）と楽曲.....	15
コンペティション 40-43 ケーリー・ダンシング	17
コンペティション 44-47 セットダンシング.....	20
コンペティション 48 シャン・ノース	23
コンペティション 49 アイルランド語.....	25
コンペティション 50-51 ストーリーテリング（storytelling & scéalaíocht）	26
一般規則（要約）	28

エントリー手順

I) エントリーは、できればアイルランド語で、フラー・コンペティションの初日から 6 週間以上前に CCÉ の支部事務局に提出する。支部事務局はエントリーをカウンティ事務局にフラー・コンペティションの初日の 5 週間以上前に提出する。締切後の遅延エントリーは受け付けない。

II) 料金体系は、フラー・エントリー・フォームに記載されている。

注意：デュエットやトリオのコンペティションでは、会員と非会員の該当するコンペティション・エントリー料金が適用される。

III) フラー・コンペティションは非会員でも参加可能。エントリーと該当する料金をフラー・コンペティションの初日の 6 週間前までにカウンティ事務局に直接提出、支払わなければならない。

IV) コンペティションは CCÉ 支部以外のいかなる教師や団体の名称でもエントリーできない。非会員は個人の名前と住所でエントリーすること。住所はプログラムには表示されない。

V) カウンティ（県単位）やリージョンのフラーからプロヴィンス（マンスター、レンスター、コナクト、アルスターの行政区）のフラー、およびプロヴィンスのフラーからオールアイルランド（全国）のフラーへと予選通過した会員は、予選通過したフラーへのエントリー料金は払わないが、該当するフラーの会場への入場料は支払う。フラーのエントリー料金は会場の入場料に含まれていない。

VI) 前年度のフラー・ヒョール・ナ・ヘーレンにおいて、O-18 (D)、混合セット O-35 (47L) およびパイプバンド全年齢 (30E) の勝者は、同コンペティションにおいて現在のオールアイルランド・チャンピオンとして次回フラーへの出場権を持つため、カウンティ、リージョン、プロヴィンスのフラーにおいて同コンペティションに参加する資格を有しない。これは **Newly Composed Ballads**（新規に作詞されたバラッド）、**Amhrain Nuacheaptha**（アイルランド語で新規に作詞された歌）および **Newly Composed Tunes**（新規に作曲された楽曲）には適用されない。

居住地

ソロ、デュエット、トリオのすべてのコンペティションにおいて、出場資格を有する出場者はフラーが開催されるカウンティまたはリージョンの居住者に限定される。ケーリー・ダンシング、セット・ダンシング、ケーリー・バンド、マーチング・バンド、グルッパキョールの場合、できるかぎりカウンティかリージョンの居住者であることが推奨される。該当するカウンティやリージョンの居住者が、資格を与えられるフラーの日程より前の 12 ヶ月間のうち 6 ヶ月以上の期間にわたり居住している場合のみ、カウンティやリージョンの居住者であるとみなされる。アイルランド語と英語での **Newly Composed Ballads**（新規に作詞されたバラッド）、**Newly Composed Tunes**（新規に作曲された楽曲）の場合、作者はそのカウンティやリージョンの居住者でなくてはならない。

年齢グループ

フラーのコンペティションには、以下の年齢グループが適用される。

- A U-12（12 歳以下）：** フラーのコンペティションが行われる年に 12 歳以下の誕生日を迎える、または迎えた人物
- B 12-15:** フラーのコンペティションが行われる年に 13 歳、14 歳、15 歳の誕生日を迎える、または迎えた人物
- C 15-18:** フラーのコンペティションが行われる年に 16 歳、17 歳、18 歳の誕生日を迎える、または迎えた人物
- D O-18:** フラーのコンペティションが行われる年に 19 歳以上の誕生日を迎える、または迎えた人物
- E すべての年齢**
- F U-18（18 歳以下）：** フラーのコンペティションが行われる年に 18 歳以下の誕生日を迎える、または迎えた人物
- G U-9（9 歳以下）：** フラーのコンペティションが行われる年に 9 歳以下の誕生日を迎える、または迎えた人物
- H 9-11:** フラーのコンペティションが行われる年に 10 歳、11 歳の誕生日を迎える、または迎えた人物
- I 11-13:** フラーのコンペティションが行われる年に 12 歳、13 歳の誕生日を迎える、または迎えた人物

- J 13-15:** フラーのコンペティションが行われる年に 14 歳、15 歳の誕生日を迎える、または迎えた人物
- K 15-18:** フラーのコンペティションが行われる年に 16 歳、17 歳、18 歳の誕生日を迎える、または迎えた人物
- L 年齢グループ L はコンペティション 47L の男女混合セット O-35 に適用される。** セットの全メンバーがフラーのコンペティションが行われる年に 36 歳以上の誕生日を迎えていなければならない。

注意：年齢に疑義がある場合、カウンティ、リージョン、プロヴィンス、CEC 事務局の求めにより、コンペティションの 7 日以内に年齢証明証を作成しなければならない。作成できなかった場合には自動的に失格となる。

- I)** ソロのコンペティションの場合、出場者は自分自身の年齢グループだけに出場しなければならない。
- II)** デュエット、トリオ、グルッパキョール、ケーリーバンド、マーチングバンドのコンペティションにおいて、出場者は前述のコンペティションのいずれかの年齢グループの中で 1 回のみ出場が可能となる。出場者が楽器を変更した場合には年長の年齢グループにも出場することが可能だが、デュエットとトリオでは出場者のうち少なくとも 1 名は年長の年齢カテゴリに入っていないなければならない。
- III)** ケーリーダンシングでは、8 ハンドケーリーダンスの場合、最大 2 名ダンサー、4 ハンドケーリーダンスの場合、最大 1 名のダンサーが、自分が属する年齢グループで踊ったかどうかにかかわらず、一段階年長の年齢グループのみで踊ることが認められる（つまり U-12 の 8 ハンドの 2 名や 4 ハンドの 1 名は 12-15 では踊れるが、15-18 では踊れない）。12-15、15-18、O-18 も同様。
- IV)** セットダンシングでは、フルセットの場合最大 2 名、ハーフセットの場合、最大 1 名のダンサーが、自分が属する年齢グループで踊ったかどうかにかかわらず、一段階年長の年齢グループのみで踊ることが認められる（つまり U-12 のフルセットの 2 名は 12-15 では踊れるが、15-18 では踊れない）。12-15、15-18、O-18 も同様。

RIALACHA FLEADHANNA CEOIL ごとの演奏曲カテゴリ

すべてのコンペティションは伝統的な性質であることと、Comhaltas Ceoltóirí Éireann の規定に準拠するものとする。

エア（スローまたは速い）、リール、ポルカ、ホーンパイプ、マーチ、ジグ（ダブル、シングル、スリップ）、スライド、セットダンス、マズルカ、プランクシティ、フリング、バーンダンス、ショティッシュ、クランマーチおよび、コミッティ（Ardchomhairle）によって認定されたものとするケーリーダンス（*）のために演奏されるダンスチューン。

* Haste to the Wedding, The Rakes of Mallow, Humours of Bandon, Trip to the Cottage, St Patrick's Day, The Three Tunes, Lannigan's Ball, Sweets of May

注意：出場者はそれぞれの曲を 2 回繰り返して演奏する。シングルで演奏される曲の場合、出場者は ABABAB と 3 回繰り返すことができる。1 つではなく 2 曲のジグと 2 曲のリールなど、曲を余分に演奏した出場者は、選曲の最初の曲のみが審査され、余分な曲ごとに 2 点減点する。

リコール（同点奏者の再審査のための呼び戻し）：1 位、2 位、3 位 での同点は認められない

- ◆ 審査員は再び演奏してもらうため出演者を呼び戻すことができる。ソロ、デュエット、トリオのリコールにおいては、新しい曲を 1 曲演奏しなければならない。
- ◆ ケーリーバンドでのリコールの場合、年齢グループ A と B では新しい曲を 1 曲、C と D では 2 曲のリールを連続して演奏する。
- ◆ アイルランド語と英語のシンギングにおいては、すべての年齢グループでリコールされた歌手は自分で選択した新しい曲を 1 曲歌わなければならない。
- ◆ リコールされた出場者は 30 分以内に登場すること。
- ◆ 報告を怠った場合、アドバンテージを喪失する。
- ◆ 審査員が複数の場合は離れて着席し、別々に審査シートに記入した後にポイントシステム（11, 7, 5, 4, 3, 2, 1）を用いて最終結果をまとめる。同点

の場合は以下が適用される。コール係は、最終的かつ明確な結果を計算し、再演するバンドの数を最小限にとどめるため、関連審査員がすでに与えた順位を参照し、同位チームを最高位とした（審査員の）総数で多い方を勝者と判断する。（常に多数決を当てはめる。審査員が 3 名から 5 名の場合、3 名だと 2:1、5 名だと 3:2 以上が適用される）。

- ◆ それでも同位の場合は、バンドは上記のリコールに従って演奏することが要求される。

コンペティション 1-17 ソロ楽器

ケーリーバンド・コンペティションの際にピアノがなく、電子ピアノを演奏する場合を除いては、いかなるコンペティションにおいても電子またはアンプを使った楽器は認めない。マウスオルガンを演奏する出場者を除いて、グルッパキョール以外のいかなるコンペティションに出場するときにも楽器の変更は厳密に禁止する。

Rogha Gléas / Miscellaneous（その他の楽器）と Tionlacan / Accompaniment

（伴奏）のすべてのコンペティションにおいて、演奏される楽器は、フラーエントリー公式用紙に記入されていなければならない。出場者と楽器の組み合わせは、同年の上位のフラーにおいて継続されなければならない、フラーのプログラムに記載される。

1. フィドル A, B, C, D

2. ボタンアコーディオン A, B, C, D

- ◆ 2 列のボタンアコーディオンのみに限定。

3. フルート A, B, C, D

- ◆ D 管または E フラット管のコンサートフルート。
- ◆ 伝統的なシンプルシステムの木管フルート、ベーム式、ラドクリフ式などを含む、E フラット以下のピッチの楽器。E フラットより高いピッチのフルートは、Rogha Gléas（その他の楽器）のコンペティションに出場しなければならない。

4. ホイッスル A, B, C, D

- ◆ フィプル（マウスピース）つきで 6 指穴を超えない楽器と定義される。楽器のピッチや楽器の材質は問わない。

5. ピアノアコーディオン A, B, C, D

6. コンサーティーナ A, B, C, D

7. イーリアン・パイプス A, B, C, D

8. アイリッシュ・ハーブ A, B, C, D

9. マウスオルガン A, B, C, D

- ◆ ハーモニカとは異なり、決まったキーの全音階しか出せないダイアトニックの楽器。ハーモニカとは、レバーなどの構造により半音が出せるクロマチックの楽器で、マウスオルガンとして演奏した場合でも認められず、Rogha Gléas（その他の楽器）のコンペティションに出場しなければならない。

10. バンジョー A, B, C, D

11. マンドリン A, B, C, D

12. ピアノ A, B, C, D

13. メロディオン A, B, C, D

- ◆ 1 列のアコーディオンはメロディオンではなく、メロディオンのコンペティションでは認められない。

14. Rogha Gléas（その他の楽器）A, B, C, D

- ◆ このカテゴリには、メロディを演奏することができるすべての楽器で、1 から 13 のカテゴリに当てはまらないものが相当する。配電使用または電池式の電子楽器は認められない。Rogha Gléas（その他の楽器）のコンペティションでは、出場者は 1 種類の楽器のみに出場できる。すべてのその他の楽器のコンペティションにおいて、演奏される楽器および必要であればチューニングがフラーエントリー公式用紙に明記されていること。出場者と楽器の組み合わせは同年の上位のフラーにおいて継続する。フラーのプログラム、その他の楽器コンペティションの出場者のリストには、出場者の名前と楽器が記載される。

15. 伴奏 A, B, C, D

- ◆ このカテゴリには、メロディではなくメロディの伴奏を行う楽器が相当する。伴奏コンペティションの伴奏者がテンポを決めるために先に演奏を開始することによる減点はない。伴奏はパフォーマンスの間中演奏しなければならない。このコンペティションの目的は、伴奏のみを審査することにある。すべての伴奏コンペティションにおいて、演奏される楽器がフラーエントリー公式用紙に記載されていなければならない。出場者と楽器の組み合わせは同年の上位のフラーにおいて継続される。すべてのフラーのプログラムにおいて、伴奏コンペティションの出場者のリストには出場者の名前と楽器が記載される。伴奏コンペティションでは最大 2 名のミュージシャンが演奏することが認められる。

16. バウロン A, B, C, D

- ◆ バウロンのコンペティションでは最大 2 名のミュージシャンが出場者のために演奏することが認められる。

17. ケーリーバンド・ドラム A, B, C, D

- ◆ ケーリーバンド・ドラムのコンペティションでは最大 2 名のミュージシャンが出場者のために演奏することが認められる。

コンペティション 1-17

年齢グループ A&B: 上記の 2 種類のカテゴリの中から各 1 曲

年齢グループ C: 上記の 3 種類のカテゴリの中から各 1 曲

年齢グループ D: 上記の 4 種類のカテゴリの中から各 1 曲

注意: シニアのフィドル (1D)、フルート (3D)、ホイッスル (4D)、イーリアンパイプス (7D) とハープ (8D) では、4 曲中 1 曲スローエアを含まなければならない。

- ◆ 出場者はそれぞれの曲を 2 回繰り返し演奏する。シングルで演奏される曲の場合、出場者は ABABAB と 3 回繰り返すことができる。1 つではなく 2 曲のジグと 2 曲のリールなど、曲を余分に演奏した出場者は、選曲の最初の曲のみが審査され、余分な曲ごとに 2 点減点する。
- ◆ 参加者は、演奏中楽器のチューニングを変えてはならない。

コンペティション 18-22 スローエア

18. フィドル・スローエア、A, B, C, D

19. イーリアン・パイプス・スローエア、A, B, C, D

20. フルート・スローエア、A, B, C, D

21. ホイッスル・スローエア、A, B, C, D

22. ハープ・スローエア、A, B, C, D

- ◆ 各出場者が審査員にエアのリストを提出し、年齢グループ A から D に述べられた通りに演奏すること。

年齢グループ A: リスト中の 2 曲のうち 1 曲のエア（審査員が選ぶ）

年齢グループ B: リスト中の 4 曲のうち 2 曲のエア（審査員が最初の曲、出場者が 2 つ目の曲を選ぶ）

年齢グループ C: リスト中の 6 曲のうち 2 曲のエア（審査員が最初の曲、出場者が 2 つ目の曲を選ぶ）

年齢グループ D: リスト中の 8 曲のうち 2 曲のエア（審査員が選ぶ）

- ◆ トラディショナルなイディオム（様式）でのスローエアのみが認められる。
- ◆ エアを 1 回のみ演奏しても、スローエアコンペティションでは出場者は減点とならない。

コンペティション 23-24 デュエットとトリオ

23. デュエット A, B, C, D

24. トリオ A, B, C, D

年齢グループ A&B: 上記の 2 種類のカテゴリの中から各 1 曲

年齢グループ C: 上記の 3 種類のカテゴリの中から各 1 曲

年齢グループ D: 上記の 4 種類のカテゴリの中から各 1 曲

- ◆ デュエットは 2 つのメロディ楽器で構成される。シニア・デュエット（年齢グループ D）は 2 つの異なるメロディ楽器で構成される。デュエットのメンバーは常に曲のメロディを演奏しなければならない。
- ◆ トリオは 3 つのメロディ楽器で構成される。シニア・トリオ（年齢グループ D）は少なくとも 2 つの異なるメロディ楽器で構成される。トリオのメンバーは常に曲のメロディを演奏しなければならない。
- ◆ デュエットとトリオでは、全メンバーのフルネーム、住所、該当する場合は CCÉ 支部をフラーエントリー公式用紙に明記しなければならない。アンサンブルで出場者が演奏する楽器はフラーエントリー公式用紙、および上位のフラーのプログラムにおいて出場者の名前とともに明確に記載される。この出場者と楽器の組み合わせはその年度の上位のすべてのフラーで継続されなければならない。予選を通過した場合、楽器や出場者の交代は認められない。

コンペティション 25 ケーリーバンド

25. ケーリーバンド A, B, C, D

ケーリーバンドは 5 人以上 10 人以下のメンバーで構成される。

年齢グループ A: ケーリーバンドは 2 種類のカテゴリの中から各 1 曲演奏する。

年齢グループ B: ケーリーバンドはリールをつづけて 2 曲と、その他の 1 種類のカテゴリの中から 1 曲演奏する。

年齢グループ C: ケーリーバンドはリールをつづけて 2 曲と、その他の 2 種類のカテゴリの中から各 1 曲演奏する。

年齢グループ D: シニアのケーリーバンドは、リールをつづけて 2 曲、ジグをつづけて 2 曲、および最大 2 曲をその他の 2 種類のカテゴリの中からそれぞれ演奏する。

コンペティション 26 グルッパキョール

26. グルッパキョール A, B, C, D

- ◆ グルッパキョールは最低 4 名、最大 20 名で構成される。
- ◆ それぞれのグループが最短 6 分間、最長 8 分間、自分で選んだ音楽を演奏するが、ステージ上での制限時間は 10 分間とする。グルッパキョールのコンペティションではホイッスル奏者やリルティング演者、バウロンやボーンズの演奏者を含むことができるが、ピアノとドラムは認められない。
- ◆ 選曲には特別な注意が必要で、できるだけ多様性を持つために、ジグ、リール、ホーンパイプ以外の、スローエア、セットダンス、マーチ、フリリング、マズルカ、ポルカ、スライド、ショティッシュ、プランクシティバーンダンス、クランマーチ、ハーブミュージック、ワルツなどの曲を演奏する努力をしなければならない。スローエアはソロの演者によって演奏される必要はない。
- ◆ グルッパキョールで演じられるプログラムは、アイルランドのトラディショナルなイディオム（様式）の範囲内でなければならない。
- ◆ グルッパキョールは、プログラムの一環として、少なくとも 1 つのダンスチューンを、メロディ楽器を演奏するグループの全メンバーによって一斉に（ユニゾンで）1 回は演奏することが要求される。
- ◆ グループは 6 分間から 8 分間、自らが選曲した音楽を演奏する。審査員の決定に従って、8 分を超えるまたは 6 分に満たない場合は、1 分ごとまたは 1 パートごとに 2 点減点される。
- ◆ 楽器のアレンジメントと音楽のプレゼンテーションには注意を払うこと。
- ◆ 各グループリーダーはスリップジグ、マーチなど演奏される順番の曲のリスト、および楽器のリストを演奏前にコンペティションクラークに提出すること。

コンペティション 27-30 マーチングバンド

- 27. アコーディオン（マーチング）バンド F, D
- 28. フルート（マーチング）バンド F, D
- 29. その他（マーチングバンド） F, D
- 30. パイプ（マーチング）バンド E

上記コンペティションに適用される年齢カテゴリに注意すること。

- ◆ 各バンドは最低 2 曲のマーチと、7 ページの曲分類や曲カテゴリのリストから選んだ曲を演奏しなければならない。
- ◆ 演奏時間は 10 分（最短）から 12 分（最長）。10 分に満たない、または 12 分を超えた場合は 1 分ごとまたは 1 パートごとに 2 点減点となる。
- ◆ バンドは 40 x 20 メートルの野外アリーナで演奏する。

コンペティション 31-34 歌（アイルランド語と英語のシンギング）

31. アイルランド語でのシャン・ノース・シンギング（女性）A, B, C, D

32. アイルランド語でのシャン・ノース・シンギング（男性）A, B, C, D

33. 英語でのシンギング（女性）A, B, C, D

34. 英語でのシンギング（男性）A, B, C, D

年齢グループ A: 出場者が選ぶ 2 曲、スローと速い（ライブリー）曲。

年齢グループ B&C: 提出された 4 曲（スロー 2 曲と速い 2 曲の）のリストから 2 曲。

- ◆ 審査員が最初の歌を選び、2 曲目（もう一方の速さの曲）は出場者が選ぶ。

年齢グループ D: 提出された 6 曲（スロー 4 曲と速い 2 曲）のリストから 2 曲。

- ◆ 審査員が最初の曲を、2 曲目（もう一方の速さの曲）は出場者が選ぶ。速い曲についてはリストで明確に示すこと。

コンペティション 35-36 ホイッスリング&リルティング

35. ホイッスリング A, B, C, D

36. リルティング A, B, C, D

年齢グループ A&B: 上記の 2 種類のカテゴリの中から各 1 曲

年齢グループ C: 上記の 3 種類のカテゴリの中から各 1 曲

年齢グループ D: 上記の 4 種類のカテゴリの中から各 1 曲

コンペティション 37-39 新規に作詞された歌（アイルランド語と英語）と楽曲

37. アイルランド語で新規に作詞された歌 E

38. 英語で新規に作詞された歌 E

39. 新規に作曲された曲 E

- ◆ 歌や楽器は過去にフラーのコンペティションにエントリーされたことがなく、出版または商業的に録音されたことがないものとする。
- ◆ 作者（コンポーザー）は歌や楽曲がエントリーされたカウンティやリージョンの居住者でなくてはならない。
- ◆ 新たに作られた楽曲はトラディショナルな性質のものであり、フラーのコンペティションで明記された曲のカテゴリに準拠しなければならない。
- ◆ 曲の書面でのコピーを、楽譜のかたちで、カウンティやリージョンのフラーの初日から暦上の 1 ヶ月前までにコンペティションのエントリーと共に提出されなければならない。エントリーと共に提出された曲のオリジナルバージョンのみが演奏の際に認められる。つまりその楽曲や歌が、その後のプロヴィンスやオールアイルランドのフラーへの予選を通過した場合、編曲や変更は認められない。楽曲が予選通過した場合、その後のコンペティションにおいてはオリジナルバージョンを演奏しなければならない。
- ◆ 新たに作られた楽曲は 2 回繰り返し演奏される。初回には、エントリーと共に提出された楽曲のオリジナルバージョンのみの演奏が認められるが、2 回目にはバリエーションが認められる。新たに作られた歌は、前述定義の通り速いテンポまたはスローテンポのいずれかでなくてはならない。楽曲や歌はソロのミュージシャンまたは伴奏なしのソロのシンガーによって演じられなければならない。作者が楽曲や歌を演じるミュージシャンやシンガーを指定することがで

き、この演者はオリジナルのエントリーでのカウンティやリージョン以外の居住者であってもよい。

- ◆ 楽曲や歌は演奏を基準とするのではなく、創作の価値によってのみ審査される。
- ◆ 作者の名前と住所を楽譜や歌詞を含むシート上に記入すること。曲が予選通過した場合、フラーの結果と共にオリジナルの歌詞や楽曲のコピーが該当するプロヴィンスのフラーやフラー・ナ・ヒョール・ヘーレンに渡される。

コンペティション 40-43 ケーリー・ダンシング

40. 8 ハンド・ケーリーダンシング（レディース、女性のみ） A, B, C, D

41. 8 ハンド・ケーリーダンシング（ミックスド、男女混合） A, B, C, D

42. 4 ハンド・ケーリーダンシング（レディース、女性のみ） A, B, C, D

43. 4 ハンド・ケーリーダンシング（ミックスド、男女混合） A, B, C, D

出場者はハンドブック「**Ár Rincí Céilí (Revision Sept. 2015)**」に掲載、および **An Coimisiún Le Rincí Gaelacha** がその後更新した内容に含まれる 4 ハンドおよび 8 ハンド・ケーリーダンスのみを演じることができる。

I) エントリー

CCÉ 会員：できればアイルランド語で、8 ハンド・ケーリーの場合は 8 名の名前、4 ハンド・ケーリーの場合は 4 名の名前を、フラー・コンペティションの初日から 6 週間以上前に、該当するエントリー料金と共に CCÉ 支部事務局に提出する。CCÉ 支部事務局はこれらのエントリーを、フラー・コンペティション初日の 5 週間以上前にカウンティ事務局に提出する。

非会員：できればアイルランド語で、チームメンバーの名前を該当するエントリー料金と共に、フラーの 6 週間前にカウンティ事務局に直接提出する。

締切後のエントリーは認められない。

II) 年齢カテゴリ：

(A) U-12 (12 歳以下)： フラーのコンペティションが行われる年に、12 歳以下の誕生日を迎える、または迎えた人物

(B) 12-15: フラーのコンペティションが行われる年に、13 歳、14 歳、15 歳の誕生日を迎える、または迎えた人物

(C) 15-18: フラーのコンペティションが行われる年に、16 歳、17 歳、18 歳の誕生日を迎える、または迎えた人物

(D) O-18 (シニア)： フラーのコンペティションが行われる年に、19 歳以上の誕生日を迎える、または迎えた人物

注意：年齢に疑義がある場合、カウンティ、リージョン、プロヴィンス、CEC 事務局の求めにより、コンペティションの 7 日以内に年齢証明証を作成しなければならない。作成できなかった場合には自動的に失格となる。

- III) 12-15、15-18、シニアの混合 8 ハンド・ケーリーダンスのチームは 4 名の男性と 4 名の女性、4 ハンド・ケーリーダンスのチームは 2 名の男性と 2 名の女性で構成されなければならない。
- IV) U-12 の混合 8 ハンド・ケーリーダンスのチームは、できるだけ 4 名の男性、4 名の女性で構成されるべきだが、8 ハンド・ケーリーの場合は最低 3 名の男性、U-12 の混合 4 ハンド・ケーリーの場合は最低 1 名の男性を含むこととする。
- V) 8 ハンドケーリーダンスの場合、最大 2 名ダンサー、4 ハンドケーリーダンスの場合、最大 1 名のダンサーが、自分が属する年齢グループで踊ったかどうかにかかわらず、一段階年長の年齢グループでのみ踊ることが認められる（つまり U-12 の 8 ハンドの 2 名や 4 ハンドの 1 名は 12-15 では踊れるが、15-18 では踊れない）。12-15、15-18、シニアも同様。
- VI) 1 つのコンペティションにおいて出場者が 2 回以上踊ることができない。つまり、同一コンペティションで 2 つの異なるチームに参加したり、2 つ以上のカウンティまたはリージョンおよびプロヴィンスで同一コンペティションに参加したりすることはできない。
- VII) **代理：8 ハンド・ケーリーダンスの場合は最大 2 名、4 ハンド・ケーリーダンスの場合は最大 1 名が、最初の予選およびその後のコンペティションの予選において交代が可能となる。これは次年度に自動的にフラワー・ナ・ヒョール・ヘーレンへの出場資格が得られるオールアイルランドのシニア勝者にも適用される。リコール（同点再審査）の場合は、さらなる代理（交代）は認められない。**
- VIII) **リコール（同点再審査）：U-12、12-15、15-18、シニアに適用。ボディと新しいフィガーをひとつ（そのチームで以前にコンペティションで踊られていないもの）を踊ることが不可欠。リコールされた際は同じダンサーが踊り、代理は認められない。リコールされた出演者は 30 分間以内に再集合すること。報告を怠ると最終審査への出場権を失う。**
- IX) 2 つの 4 ハンド・ダンスが 8 ハンド・ダンスのコンペティションとして認められることはない。
- X) 審査員はベルを鳴らすことによってダンスを十分に審査したことを示す。出場者はダンスをフルバージョンでリハーサルして臨むことが望ましい。

- XI)** シンプルで適切な服装規定：ダンススクールのダンスコスチュームは認めない。ダンス用のかつら（ウィッグ）は認めない。チップつき、または底上げ加工した靴は認めない。
- XII)** 音楽の伴奏に合わせて入場・出場時にステージをマーチングすることは認めない。
- XIII)** 審査員の決定を最終決定とする。
- XIV)** ケーリー・ダンシング・チームのマネージャー、メンター、教師は、コンペティション前に書面にてダンスとダンサーの名前、年齢の詳細、当日踊られるパートを登録する。
- XV)** マネージャー、メンター、教師がパフォーマンス中にチームのコーチを行うことは認められない。
- XVI)** マネージャー、メンター、教師はステージ上のパフォーマンス前にミュージシャンと会話をすることが認められる。
- XVII)** 前年度のフラワー・ヒョール・ナ・ヘーレンのレディースおよび男女混合コンペティションにおける **O-18 (D)** ケーリー・ダンシングの勝者は、カウンティ、リージョン、プロヴィンスの同コンペティションへの出場資格を有しない。
- XVIII)** 運営コミッティが音楽の伴奏を提供する責任を持つ。すべてのチームは提供された音楽で踊らなくてはならない。音楽の伴奏はアコースティック楽器のみに限定する。リズムマシン、ドラムマシンのような電子機器は認められない。ピアノモードのキーボードのみ使用可。ミュージシャンはすべてのケーリーダンスの演奏ができる能力を持ち、要求される曲を知っていなければならない。
- XIX)** 事前に録音された音源で踊ることは、ケーリーダンシング・コンペティションでは認められない。**すべてのケーリーダンシング・コンペティションにおいて、全出場者のために同じ音楽伴奏が用いられなければならない。**
- XX)** 運営コミッティによって提供されるアンプや PA システムのみが認められる。
- XXI)** 上記を遵守しない場合、失格となる。

コンペティション 44-47 セットダンシング

44. フルセット、レディース（女性のみ）A, B, C, D

45. フルセット、ミックスド（男女混合）A, B, C, D

46. ハーフセット、ミックスド（男女混合）F, D

47. フルセット、ミックスド（男女混合）O-35（36 歳以上）の年齢カテゴリ L

出場者は **Coiste Rince** が認可する公式なリストに記載されたトラディショナルなセットもしくはハーフセットのみを演じることができる。

I) エントリー

CCÉ 会員：できればアイルランド語で、フルセットの場合は 8 名の名前、ハーフセットの場合は 4 名の名前を、フラー・コンペティションの初日から 6 週間以上前に、該当するエントリー料金と共に **CCÉ** 支部事務局に提出する。**CCÉ** 支部事務局はこれらのエントリーを、フラー・コンペティション初日の 5 週間以上前にカウンティ事務局に提出する。締切後のエントリーは認められない。

非会員：できればアイルランド語で、フルセットの 8 名、ハーフセットの 4 名のチームメンバーの名前を該当するエントリー料金と共に、フラーの 6 週間前にカウンティ事務局に直接提出する。

II) 年齢カテゴリ

(A) U-12（12 歳以下）：フラーのコンペティションが行われる年に、12 歳以下の誕生日を迎える、または迎えた人物

(B) 12-15: フラーのコンペティションが行われる年に、13 歳、14 歳、15 歳の誕生日を迎える、または迎えた人物

(C) 15-18: フラーのコンペティションが行われる年に、16 歳、17 歳、18 歳の誕生日を迎える、または迎えた人物

(D) O-18: フラーのコンペティションが行われる年に、19 歳以上の誕生日を迎える、または迎えた人物

(F) U-18（18 歳以下）：フラーのコンペティションが行われる年に、18 歳以下の誕生日を迎える、または迎えた人物

(L) 年齢グループ L はコンペティション 47L の男女混合セット O-35 (36 歳以上) のみに適用される

注意：年齢に疑義がある場合、カウンティ、リージョン、プロヴィンス、CEC 事務局の求めにより、コンペティションの 7 日以内に年齢証明証を作成しなければならない。作成できなかった場合には自動的に失格となる。

- III)** 12-15、15-18、シニアの男女混合フルセット・ダンシングチームは 4 名の男性と 4 名の女性、男女混合ハーフセット・ダンシングチームは 2 名の男性と 2 名の女性で構成されなければならない。
- IV)** U-12 の混合フルセット・ダンシングチームは、できるだけ 4 名の男性、4 名の女性で構成されるべきだが、フルセットの場合は最低 3 名の男性を含むこと。
- V)** フルセットの場合、最大 2 名ダンサー、ハーフセットの場合、最大 1 名のダンサーが、自分が属する年齢グループで踊ったかどうかにかかわらず、一段階年長の年齢グループのみで踊ることが認められる（つまり U-12 のフルセットの 2 名は 12-15 では踊れるが、15-18 では踊れない）。12-15、15-18、シニアも同様。混合セット O-35 以上の場合、ダンサー全員が 35 歳以上でなくてはならない。
- VI)** 同じコンペティションにおいて出場者が 2 回以上踊ることはできない。いかなるダンサーもつまり、同じコンペティションまたは 2 つ以上のカウンティやリージョン、およびプロヴィンスの同じコンペティションにおいて、2 つの異なるチームで出演することはできない。
- VII)** **代理：**フルセットの場合は最大 2 名、ハーフセットの場合は最大 1 名が、最初の予選およびそれにつづくコンペティションの予選において交代が可能となる。これは次年度に自動的にフラー・ナ・ヒョール・ヘーレンへの出場資格が得られるオールアイルランドのシニアと O-35 勝者にも適用される。リコールされた場合は、さらなる代理（交代）は認められない。
- VIII)** **パート（ダンス構成）：**シニアのセット・ダンシングと O-35 のコンペティションの出場者は、トラディショナルなセットまたはハーフセットの 3 つのパートを踊ることが要求される。パートのうち 2 つは自分たちが選んだもので、残りの 1 つはそれぞれのパフォーマンス時に審査員が指定したもの。ジュニアのセットとハーフセットの出場者は、トラディショナルなセットの 2 つのパートを踊ることが要求される。

- IX) 審査：**審査委員が複数の場合は離れて着席し、別々に審査シートに記入した後に現状のポイントシステム（11, 7, 5, 4, 3, 2, 1）を用いて最終結果をまとめる。同点の場合は以下が適用される。コール係は、最終的かつ明確な結果を計算し、再演するチームの数を最小限にとどめるため、関連審査員がすでに与えた順位を参照し、同位チームを最高位とした（審査員の）総数で多い方を勝者と判断する。（常に多数決を当てはめる。審査員が 3 名から 5 名の場合、3 名だと 2:1、5 名だと 3:2 以上が適用される）。それでも同位の場合は、チームは下記の通りリコールに従ってダンスすることが要求される。
- X) リコール（同点再審査）：**U-12、12-15、15-18：1 つの新しいパート（チームによってコンペティションですでに踊られたものではないパート）。シニアと O-35 以上：1 つの新しいパート（チームによってコンペティションですでに踊られたものではないパート）。チームが 3 パートのセットを選んでいた場合、別のセットから 1 つの新しいパートを踊らなければならない。リコール（同点再審査）の際は同じダンサーが踊り、代理は認められない。リコールされた出演者は 30 分間以内に登場すること。報告を怠るとアドバンテージを喪失する。
- XI) フルセットのコンペティションの出場者は、ハーフセットのコンペティションにも参加することが認められ、その逆も可能であるが、踊ることのできるハーフセットはよく認知されたトラディショナルなハーフセット（Coiste Rince の認可する公式なリストに記載されたもの）に限られる。例えば、ウェックスフォード・ハーフセット、イーストゴールウェイ・ハーフセット等が該当する。フルセットをハーフセットに応用、変換することは認められない。**
- XII) 出場者のマネージャー、メンター、セットダンスチームの指導者は、ダンスの名称、出場者の氏名および年齢、代役に関する詳細、コンペティション当日に踊られるセットの部分を登録する。**
- XIII) すべてのダンスが認められたパートの最後まで踊られなければならない。シンプルで適切な服装規定：ダンススクールのダンスコスチュームは認めない。ダンス用のかつら（ウィッグ）は認めない。チップつき、または底上げ加工した靴は認めない。**
- XIV) 音楽の伴奏に合わせて入場・出場時にステージをマーチングすることは認めない。**
- XV) 審査員の決定を最終決定とする。**

- XVI)** マネージャー、メンター、教師は演技中、チームを指導することはできない。
- XVII)** マネージャー、メンター、教師はステージ上のパフォーマンス前にミュージシャンと会話をすることが認められる。
- XVIII)** 前年度のフラー・ヒョール・ナ・ヘーレンでのレディース、男女混合、ハーフセットおよび **O-35** のコンペティションの **18** 歳以上 (**D**) セットダンシングの勝者は、カウンティ、リージョン、プロヴィンスの同コンペティションの出場資格を有しない。
- XIX)** チームは自分たちでライブ音楽を提供しなければならない。音楽の伴奏はアコースティック楽器のみに限定する。リズムマシン、ドラムマシンのような電子機器は認められない。ピアノモードのキーボードのみ使用可。運営コミッティによって提供されるアンプや **PA** システムのみが認められる。
- XX)** 事前に録音された音源で踊ることは、セットダンシングでは認められない。
- XXI)** コンペティションの **10** 日前に、審査員に踊られる可能性があるセットの名称が提供される。
- XXII)** 上記を遵守しない場合、失格となる。

コンペティション 48 シャン・ノース

- I)** 本コンペティションはトラディショナル・スタイルのシャン・ノースダンシングを意図している。
- II)** 本コンペティションは **CCÉ** 会員および非会員対象。

年齢カテゴリ

- (A) U-12 (12 歳以下) :** フラーのコンペティションが行われる年に、**12** 歳以下の誕生日を迎える、または迎えた人物
- (B) 12-15:** フラーのコンペティションが行われる年に、**13** 歳、**14** 歳、**15** 歳の誕生日を迎える、または迎えた人物
- (C) 15-18:** フラーのコンペティションが行われる年に、**16** 歳、**17** 歳、**18** 歳の誕生日を迎える、または迎えた人物

(D) O-18: フラーのコンペティションが行われる年に、19 歳以上の誕生日を迎える、または迎えた人物

注意：年齢に疑義がある場合、カウンティ、リージョン、プロヴィンス、CEC 事務局の求めにより、コンペティションの 7 日以内に年齢証明証を作成しなければならない。出来なかった場合には自動的に失格となる。

- III) リール、ジグ、ホーンパイプから、出場者が選ぶ 1 種類のテンポのダンスを踊る（いずれの場合も 3 分間を超えないこと）。異なるリズムの組み合わせは認めない（例：ジグ・リール、ホーンパイプ・リール等）
- IV) チップがついた、または底上げ加工した靴は認めない
- V) いかなる 小道具の使用も認められない。
- VI) 運営コミッティが音楽の伴奏を提供する責任を持つ。すべてのダンサーは提供された音楽で踊らなくてはならない。リズムマシン、ドラムマシンのような電子機器は認められない。ピアノモードのキーボードのみ使用可。
- VII) 事前に録音された音源で踊ることは、シャンノース・ダンシングでは認められない。
- VIII) シャンノース・コンペティションのいかなるコンペティションにおいても、すべての出場者のために同じ音楽伴奏が用いられなければならない。
- IX) 運営コミッティによって提供されるアンプや PA システムのみが認められる。
- X) 審査員の決定を最終決定とする。
- XI) 上記を遵守しない場合、失格となる。
- XII) 前年度のフラー・ヒョール・ナ・ヘーレンでの O-18 (D) におけるシャンノース・コンペティション勝者は、カウンティ、リージョン、プロヴィンスの同コンペティションでの出場資格を有しない。

フラー・ヒョールに関する公式なコンペティション（アイルランド語部門を除く）においては、ケーリー・ダンシング、セットダンシング、シャン・ノース（ダンス）について、以下の規定を適用する。

カウンティまたはリージョンのフラーにおいて 1 位または 2 位を獲得した出場者は、プロヴィンスのフラーへの出場権を得る。また、プロヴィンスのフラーで 1 位または 2 位を獲得した出場者は、フラー・ナ・ヒョール・ヘーレ

ンへの出場権を得る。

カウンティとリージョンの優勝者・準優勝者に加え、審査員が該当するグレードで十分に高い基準に達すると判断した最大 1 名の出場者が、同年に開催されるプロヴィンスのフラーへの予選通過をする。同様に、プロヴィンスのフラーの優勝者・準優勝者に加え、審査員が該当するグレードで十分に高い基準に達すると判断した最大 1 名の出場者が、同年に開催されるフラー・ヒョール・ナ・ヘーレンの出場資格を得る。

コンペティション 49 アイルランド語

年齢グループ: G=9 歳以下、H=9-11 歳、I=11-13 歳、J=13-15 歳、K=15-18 歳

- I) コンペティションの焦点は会話のためのアイルランド語
- II) 5 名の受賞者が、カウンティ（リージョン）のフラーからプロヴィンスのフラーに予選通過し、さらに 5 名の受賞者が各年齢グループでプロヴィンスからオールアイルランドのフラーに進む。オールアイルランドでは、1 位、2 位、3 位が表彰される。各出場者の審査シートにパーセンテージで点数が示される。

III) コンペティション:

出場者は以下のカテゴリで評価される。

- ◆ 正確さ、流暢さ 55
- ◆ インフォメーション 25
- ◆ 詩またはストーリー 20（詩やストーリーの代わりに歌うことは認められない）

注意: 「インフォメーション」は以下の通り審査される。

U-9（9 歳以下） の出場者は CCÉ に関する知識を持っていることが望まれる。

U-11/U-13（11 歳以下、13 歳以下） は CCÉ と GAA に関する知識を持っていることが望まれる。

U-15/U-18（15 歳以下、18 歳以下） は CCÉ、GAA、ゲーリックリーグ、Glór na nGael, RnaG, TG4（テレビ局）そして Údarás na Gaeltachta.に関する知識を持っていることが望まれる。

基本的なインフォメーションで十分である。

CCÉ で強調されるのはローカルな CCÉ のアクティビティとなる。

- IV) **時間:** それぞれの出場者に以下の長さの時間が割り当てられるが、これには 2 分を超えない詩やストーリーの抜粋を含む。

年齢グループ：U-9（9歳以下）、6-7 分間

年齢グループ：9-11 歳、6-7 分間

年齢グループ：11-13 歳、9-10 分間

年齢グループ：11-13 歳、9-10 分間

年齢グループ：15-18 歳、11-12 分間

コンペティション 50-51 ストーリーテリング (storytelling & scéalaíocht)

ストーリーテリング：ストーリーテリングは視覚芸術ではなく、口承芸術である。人間の声を持つバリエーション、ニュアンス、変調、あらゆるフレーズ、タイミング、パンチライン（聞かせどころ）を駆使して実施される。ストーリーテリングには、演劇的な動きやコスチュームを使用する余地はない。ストーリーテリングを行う者は、座ったままあるいは立った状態で、動きを最小限に抑え、手指のジェスチャーおよび表情の変化のみを行うように留意する。

ストーリーテリングにおけるストーリーは、暗唱、独白、詩の朗読と混同してはならない。暖炉の傍に座って、隣人たちをストーリーによってもてなした古きストーリーテラー達のイメージが、ストーリーテリングを理解するにあたってよい指針となるだろう。

コンペティションの目的：本コンペティションの目的は、コールタスの若年層において、私達の文化におけるストーリーテリング（storytelling & scéalaíocht）の伝統を守ることと、公の場でパフォーマンスをできるレベルのストーリーテラーを育成することにある。これまでに音楽、声楽、ダンスの伝統に関して私達が実施してきたことと同様である。

ストーリー：アイルランドらしい内容で、現地のアクセントやスタイルで語られるものでなければならない。ストーリーが「アイルランドらしさ」が感じられるものであるかぎり、アイルランド語以外のアクセントにおいて話す出場者も歓迎する。テーマは、ユーモラスなもの、シリアスなもの（あるいはその混合）、歴史的なもの、現代的なもののいずれでもよい。

時間：スケジュールの都合上、出場者はコンペティションで披露するストーリーの長さを 4～8 分に収める必要がある（2020 年のストーリーテリングのガイドラインを修正）。競技者が競技時間を超過した場合、採点者が減点を行う可能性がある。

ストーリーテリングの採点基準

ストーリー（Story）：明確なストーリーが展開されている。登場人物、場所、出来事がよく練られており、創造的な言葉の使い方で描写されている。朗読、独白、詩の朗読は、別のジャンルのものであるため、推奨されない。

語り（Telling）：語り口に、個性や個人的なスタイルが感じられる。観客の関心が自然な流れや「暖炉の傍で」語られているような気楽さの中で引きつけるものがあり、適切な場面でユーモアや感情を交えて語られる。

解釈とオリジナリティ。新しい話も古い話も歓迎し、どんなトピックやテーマでもよく、何よりも「アイルランドらしさ」があることを重視する。

重視される点：

- ◆ オリジナルのストーリーがうまく伝えられているか？
- ◆ 古い物語が再創造され、かつ／または創造的に伝えられているか？
- ◆ 新しいストーリーが創造され、アイルランドの伝統的なスタイルで語られており、一定の水準に達しているか。

長さ - 最小 4 分、最大 8 分。

推奨される採点基準

- | | |
|---------------------|-----|
| (a) 語り手の自信と誠意 | 20% |
| (b) 語りの正確さと流暢さ | 40% |
| (c) ストーリーの全体的なインパクト | 40% |

ストーリーテリング（scéalaíocht）のガイドライン

（日本語版作成にあたっての注釈：本項のみアイルランド語を日本語に訳している）

目的：ストーリーテリングの伝統に対する関心を刺激し、言語、プレゼンテーション、ストーリーの選択における良い水準を保つ。

ストーリーの選択：アイルランドのストーリーテリングの伝統には幅広い範囲があり、物語は出場者の年齢に応じて選択されるべきである。書店に並んでいるような短い笑い話、イソップ童話、幽霊やいたずら好きの妖精に関する話、地元のキャラクターに関する話等が若年層にとっては適していると思われる。その後、アイルランド語や詩的な言葉に満ちた歴史に関する物語、愛や戦士に関する物語、神話に関する物語等に進むことができる。ストーリーの性質に関わらず、最もシンプルなストーリーから複雑性を持った神話に関するストーリーまで、語り手には文法と発音における正確性が期待され、採点においてもその点が考慮される。

採点基準

- | | |
|---------------------|-----|
| (a) 語り手の自信と誠意 | 20% |
| (b) 語りの明確さと言語的な正確性 | 40% |
| (c) ストーリーの全体的なインパクト | 40% |

スケジュールの都合上、出場者はコンペティションで披露するストーリーの長さを 4～8 分に収める必要がある。

一般規則（要約）

- ◆ 出場者は新規に作詞された歌、新規に作曲された楽曲以外は、コンペティションの会場にて本人が演じ、できるだけコール係に呼ばれた順番で出場しなければならない。特定のコンペティションで呼ばれたときに登場しなかったり、担当のコール係に不在の理由を伝達していなかったりした場合、コンペティションの出場資格を失うことになる。
- ◆ フラー・ヒョール・ナ・ヘーレンの、次にあげるコンペティションへの出場者は、プログラムで公開されている順序で出場しなければならない。
O-18 のデュエットと O-18 のトリオ、15-18 のケーリーバンドとグルッパキョール、O-18 のケーリーバンドとグルッパキョール、全年齢のマーチングバンド。従わなかった場合には失格となる。

- ◆ コール係は不在の出場者がそれ以外のコンペティションに出場するために引き留められていることを事前に伝えられないかぎり、最後の出場者の演技完了後にコンペティションを終了する。事前に伝えられている場合、コンペティションはコール係の裁量によって、最長 **15** 分間延長できる。いったんコール係がコンペティションを終了したら、再演は行えない。
- ◆ 会場担当を通して以外は、フラー会場にてコンペティション当日に審査員と会話をすることは認められない。
- ◆ コンペティションのいかなる過程においても、出場者を陰から指揮したり、指導したりすることは禁じられている。
- ◆ 出場者が、価値が認められる基準に達していない場合、審査員は優勝の授与を保留することができる。
- ◆ 各コンペティションにおいて、カウンティとリージョンの優勝者・準優勝者に加え、審査員が該当するグレードで十分に高い基準に達すると判断した最大 **1** 名の出場者が、同年に開催されるプロヴィンスのフラーへの予選通過をする。プロヴィンスのフラーの優勝者・準優勝者は、同年のフラー・ヒョール・ナ・ヘーレンの出場資格を得る。
- ◆ フラーの **10** 日後には、**1** ユーロと郵送費を支払うことで、出場者はエントリーごとの審査シートのコピーを入手することができる。
- ◆ フラーのルール解釈をめぐる異議申し立てについては、規定（**Rialacha Fleadhanna Ceoil**）を参照し、解決される。

日本語版：2022 年 4 月発行

Comhaltas Ceoltóirí Éireann Japan (CCÉ ジャパン)

この文書は **CLÁR NA gCOMÓRTAS 2020** 英語版を日本語に翻訳したものであり、内容の詳細については原文を優先とします。

===== Memo =====